

# ピンクリボン・フェスティバルについて

中西知子・ピンクリボンフェスティバル運営委員会（朝日新聞社事業本部事業開発部新規事業グループ）

乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるために、「街」と「人」をコンセプトにした「ピンクリボンフェスティバル」を開催しています。

2000年頃、日本では、外資系企業や、患者会、NPO法人が乳がんの啓発活動を始めていましたが、横への広がりという点で、普及活動が行き詰まっていました。「一社では限界がある」「点の活動を広げたい」という企業や団体の声を受け、2002年に朝日新聞社は、賛同企業とともに、ピンクリボン活動をスタートしました。シンポジウムを開催し、紙面にその模様を掲載。啓発パンフレットを約8万部制作し、10社で活用しました。こうして、日本で初めて企業枠を超えたコラボレーションが実現しました。

乳がんを日々の生活の中で、自然に自分の問題として意識してもらうためには、病気というネガティブなイメージではなく、女性が好む明るいポジティブなキャンペーン展開が必要だと考えました。そこで、企画したのが「ピンクリボンフェスティバル」でした。

朝日新聞社1社だけではなく、(財)日本対がん協会をはじめ、六本木ヒルズやNPO法人大丸有エリアマネジメント協会(大手町、

丸の内、有楽町の街づくり

NPO法人)という街や日本

音楽事業者協

会などの団体

に支援をいた

だく形で「運

営委員会」を

設立。また、ヤ

フーシヤパンや

テレビ朝日と

メディアミック

スさせ、発信力

を強めました。

初年度の2003年は、東京でシンポジウム

とウォークイベントの開催、テレビ朝日新社屋

のライトアップや原宿駅の16面大型広告ポード

のジャック、ヤフーシヤパンでの特設サイト展

開など同時多発的にイベントを実施。日本で

初めての本格的な乳がんキャンペーンというこ

ともあり、各メディアでも多く取り上げられ

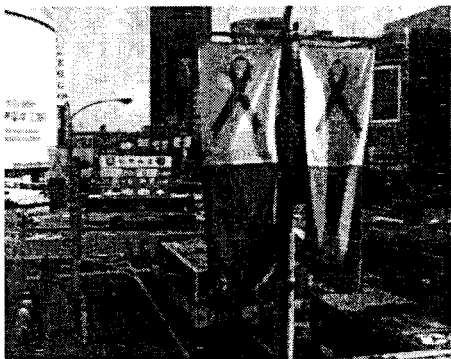
ました。また、「明るく可愛い」イメージが好

印象を与えました。

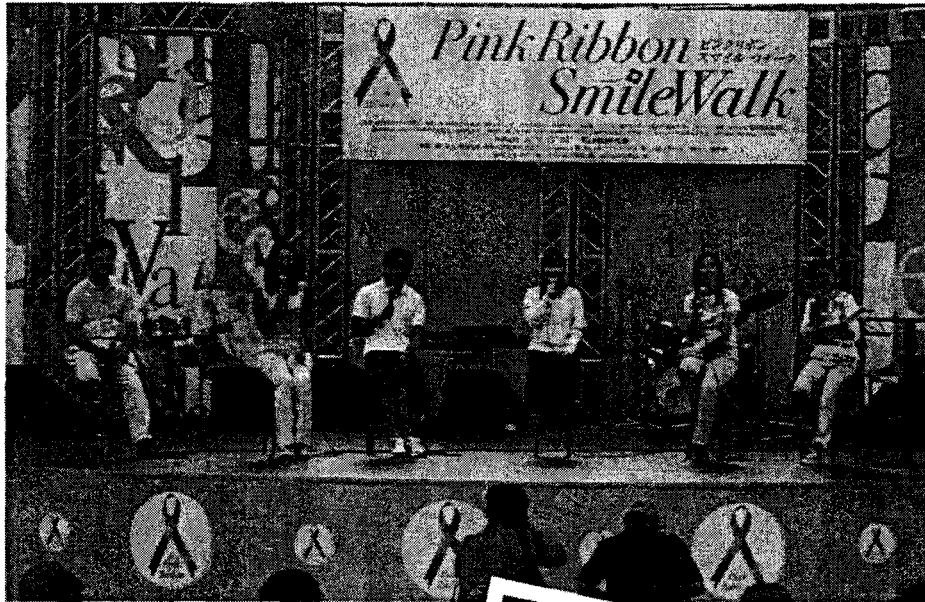
2年目の今年は、東京以外に、神戸にもウイ



有楽町マリオンセンターモール柱巻き(メッセージ)広告



フラワーロード(神戸・三宮駅前)を彩るフェスティバルバナー



スマイルウォークサブイベント・トークショーの様子  
(東京・六本木ヒルズアリーナ)



バナーと同じデザインのバンダナを身につけ歩く参加者(神戸のスマイルウォーク大会)



著名人26人が参加したJR車体広告(埼京線)

ングを広げました。選んだ理由は3つ。来年、震災10周年を迎える街であること。医療産業都市構想を掲げていること。そして「ファッションの街」であること。「命の大切さ」をアピールでき、女性に関心をもってもらうのに最適な場所が神戸でした。

10月1日には、東京でシンポジウムを開催するほか、話題づくりのために記者会見、街頭

キャンペーンを行いました。街頭キャンペーンは、東京と神戸で同時に開催。NPO法人と患者会、支援企業の有志がピンクリボンバッジ、啓発パンフレットなど、約1万セットずつを配布しました。東京ではシンガーソングライターの中井美穂さん、フリーアナウンサーの中井美穂さん、スポーツキャスターの荻原次晴さんが記者会見に引き続き、街頭キャンペーンにも参加

し、話題となりました。

10月2日の六本木ヒルズを発着にした「ピンクリボン・スマイルウォーク」には、約3000人が、23日の神戸大会には約2500人が参加。ピンクリボングッズを身につけて歩き、街ゆく人たちにアピールしました。

また街のデコレーション、ライトアップも華やかにイベントを盛り上げました。レインボープリッジが1日から3日間、東京タワーは3日に、ピンク色にライトアップ。23日には、これらに加えて、神戸ポートタワー、明石海峡大橋などもライトアップし、インパクトを与えました。さらに、著名人26人の顔写真とメッセージをあしらったJRの車体広告が京浜東北線と埼京線でお目見えしました。そのほか、東京と神戸でのフェスティバルバナー掲出、ヤフー・ジヤパンなどのサイト展開も昨年より充実しました。

乳がんに対して、人々に興味や関心を持ってもらうために、10月に活動を強化しました。その結果、「早期発見できた」「検診に行ききっかけになった」という声が昨年以上に、私たちがのもとに寄せられています。

今後も、斬新で夢のある企画を提案し、多種多様な企業、団体を巻き込みより大きなムーブメントを作りたいと思っています。クリスマスシーズンになると、イルミネーションで街が輝くように、乳がん月間の10月には、ピンクリボンで街が彩られ、人々が自然に「乳がん」を意識する。そんな景色が日本に現れる日を目指して、ピンクリボンを大切に育てていきたいと思っています。